

令和6年度
感染症対策指導者養成研修会
～保育施設編～

保育施設における 感染症対応について



金沢区
幸せお届け大使
ぼたんちゃん

令和6年8月22日(木)
金沢区福祉保健課健康づくり係

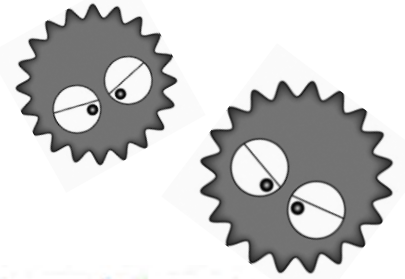
目次

- ①感染症の基礎知識
- ②感染症拡大防止のために
- ③ノロウイルスにおける感染拡大防止策
- ④ラインリストの活用について
- ⑤集団発生時の対応について

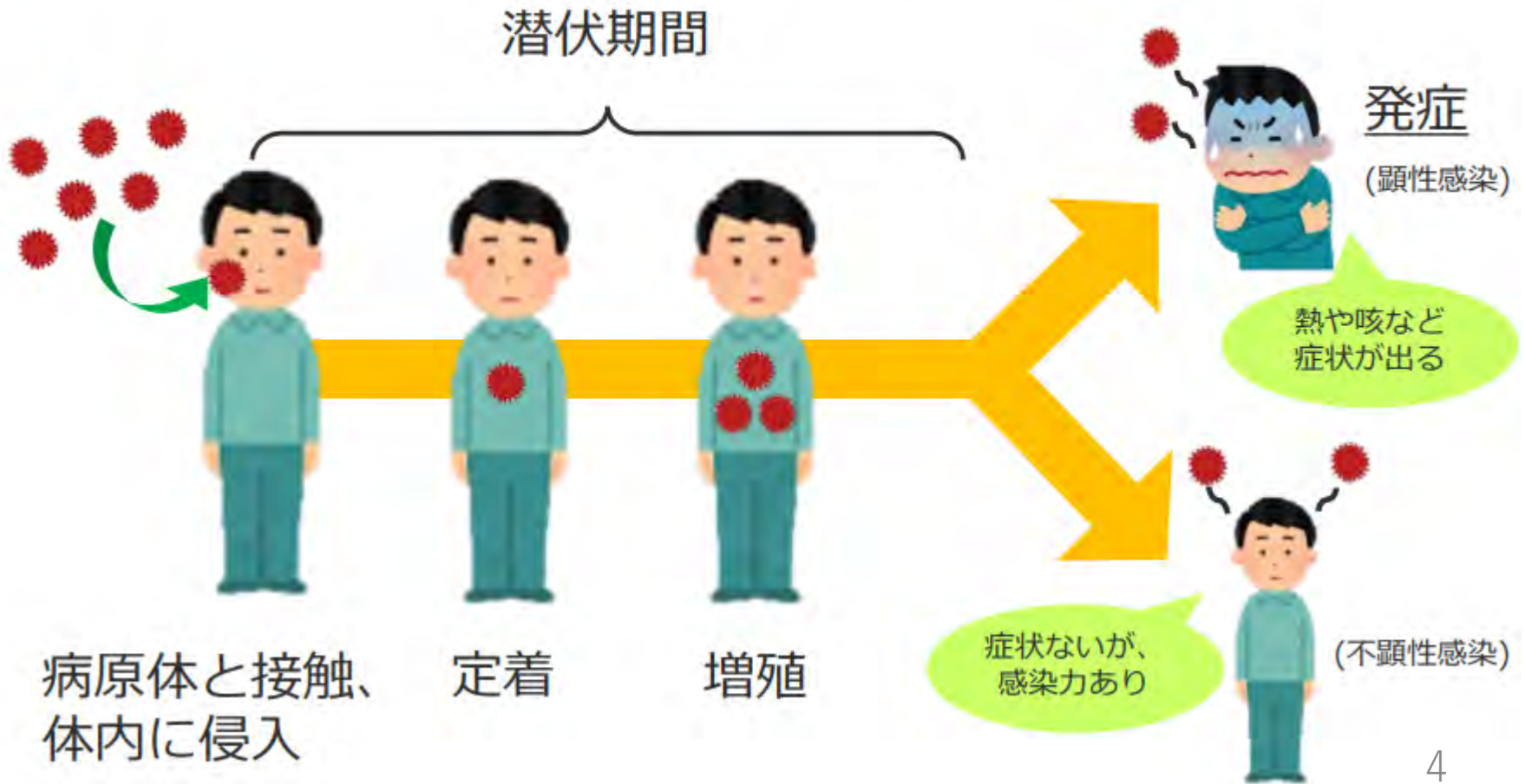
感染症の基礎知識



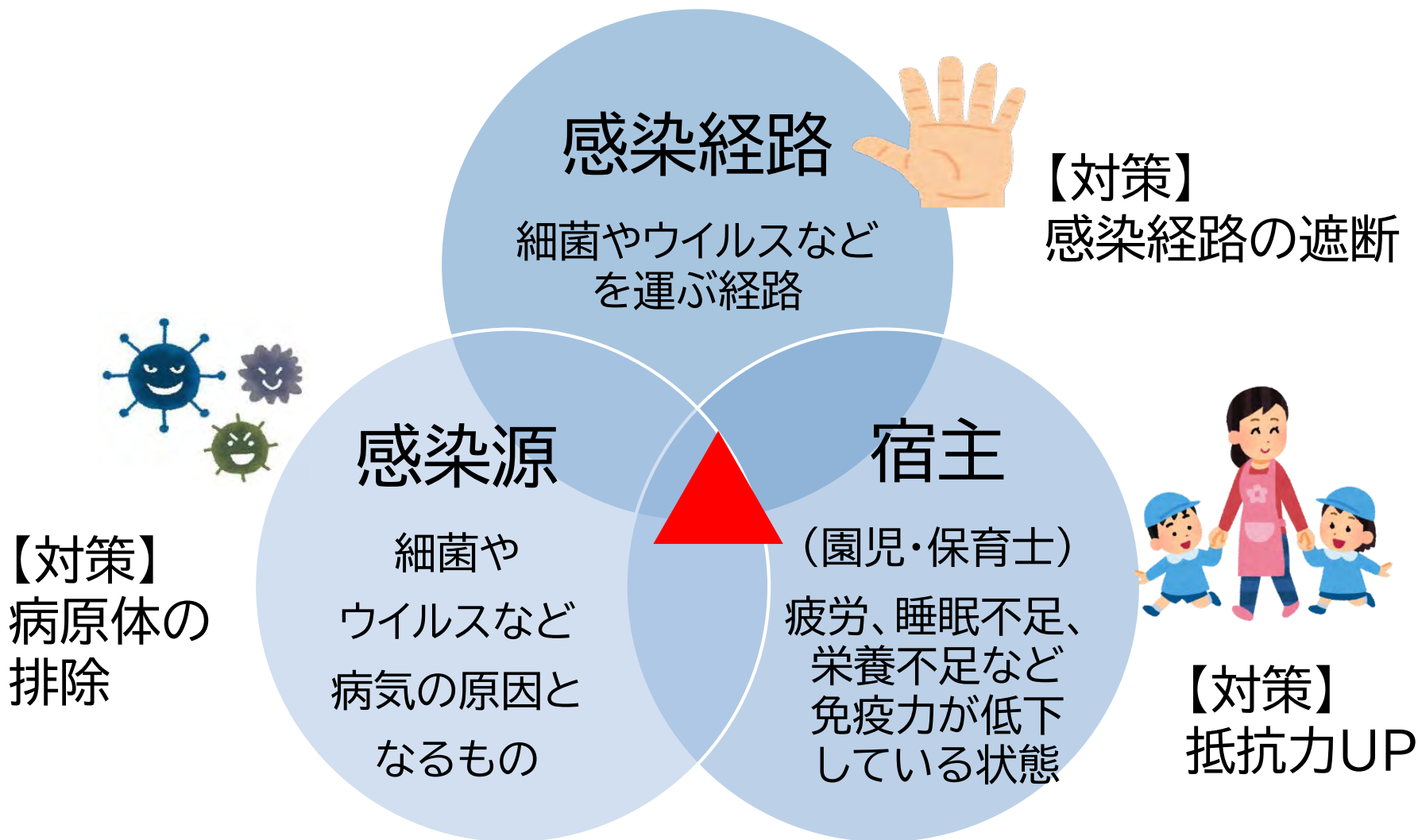
感染症とは



感染症は、人間の体に病原体が入り定着、増殖することで起こる。



感染症に影響する要因



3つの条件がそろうと感染がおこるので、1つでも取り除くことが重要。

感染経路

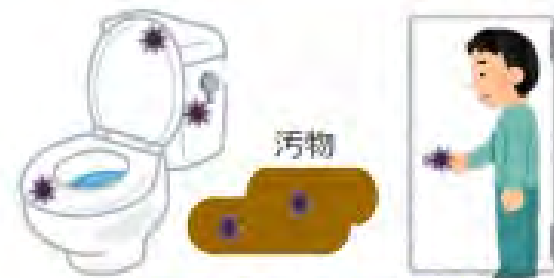
飛沫核感染
(空気感染)



概ね 2 m 以内



飛沫感染



接触感染

昆虫を介した
感染



食品や水を介した
感染

接触感染



保育施設等で多く見られる感染症

	新型コロナ	インフルエンザ	ノロ	RS	ヘルパンギーナ
病原体	新型コロナウィルス	インフルエンザウィルス	ノロウィルス	RSウィルス	コクサッキーウィルス
潜伏期間	3～5日	1～4日	12時間～48時間	4～6日	3～6日
ウイルスの排出 (個人差あり)	5～10日間	7日間	7日間～1か月間	3～8日間	飛沫や鼻汁 (1～2週間) 便 (数週～数か月)
症状	発熱、呼吸器症状、肺炎、頭痛、嗅覚・味覚障害	高熱、関節痛、筋肉痛、食欲不振、呼吸器症状	下痢、嘔吐、脱水、発熱、食欲不振、倦怠感	咳、鼻水、発熱、その他呼吸器症状	高熱、咽頭痛、咽頭に赤い粘膜疹・水疱

保育施設等で多く見られる感染症

	新型コロナ	インフルエンザ	ノロ	RS	ヘルパンギーナ
登園のめやす	発症した後、 5日 経過し かつ 症状が軽快 した後 1日 を経過 すること	発症した後、 5日 経過し かつ 解熱した後 3日 経過 していること (乳幼児の場合)	嘔吐、下痢 等の症状が 治まり、 普段の食事 がとれるこ と	呼吸器症状 が消失し、 全身状態が 良いこと	発熱や口腔内 の水疱・ 潰瘍の影響が なく、 普段の食事が とれること

【参考】
『保育所における感染症対策ガイドライン
(2018年改訂版)』より

感染症拡大防止 のために



＼感染症にうつらない・うつさないために／

標準予防策をしましょう (スタンダード・プリコーション)

【定義】「すべての血液・体液・分泌物・排泄物は感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない」という考え方

(例)

- ・体液などを扱う際は手袋を使用する。
- ・分泌物が飛散する可能性がある場合には、マスク、ゴーグル、ビニールエプロンを使用する。
- ・咳やくしゃみがあるときはマスク等を用いて鼻や口を覆う。
- ・手指が分泌物で汚染されたら手指衛生を行う。

日頃からの対策

・スタンダード・プリコーション

(標準予防策)

・消毒

(どこを、どうやって、どんなとき)

・体調管理

(スタッフ・利用者)

・感染対策のルール作り

(誰がやっても同じようにできる)

・相談・報告体制の整理

(緊急時の体制を整える)

・シミュレーションを行う

(いざという時、慌てないために)

POINT!!

感染症は日頃からの備えが
とても大切です。
新型コロナウイルス以外にも
多くの感染症があります。

この機会に、自分や施設の
感染症対策は
どうなっているのかを確認し、
体制を整えておきましょう！



消毒

*アルコール類

製品濃度70%~80%のもの

*次亜塩素酸ナトリウム消毒液

※次亜塩素酸水とは異なります

★注意点★

- ・使用時は必ず換気する
- ・直接消毒液に直接触れず、手袋・エプロン・マスクを着用する
- ・金属に使用する際は使用後に水拭きを行う
- ・作り置きをしない

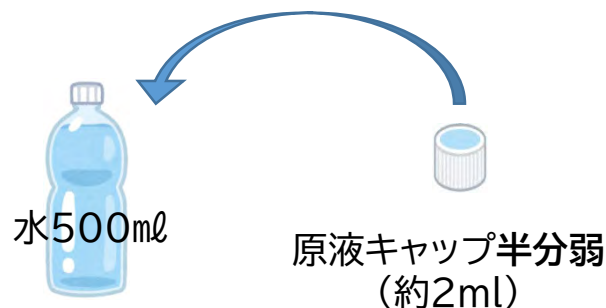
【参考】
『保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)』より

次亜塩素酸消毒液の 濃度・作り方

※製品濃度を6%としています

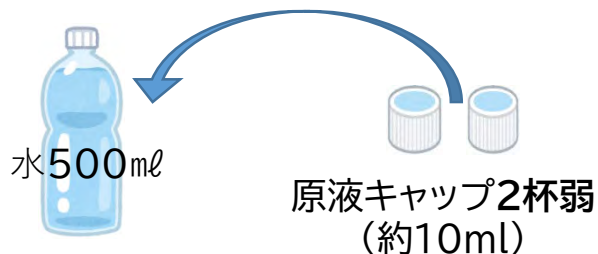
濃度0.02%
(200ppm)

- ・施設の共有部分の拭き取り
- ・衣類や食器等の浸け置き



濃度0.1%
(1000ppm)

- ・嘔吐物や排泄物が付着した床など
- ・上記付着した衣類等の浸け置き



消毒

リネン類

- ・新型コロナ:洗濯○
- ・ノロウイルス:洗濯× 消毒△
→85℃以上で1分以上熱湯消毒○



消毒の頻度・タイミングや誰が行うかを明確に！！

例

消毒部位	頻度・タイミング	誰が
スタッフが共有のパソコンや休憩スペースの物品等	スタッフが共有のパソコンや休憩スペースの物品を通して、感染が拡大してしまったケースがあります！！	スタッフ
ドアノブ等共有の物品	接触感染は侮れません！	
手	ケアを行う前後 休憩に入る前	自身

ラインリスト

作成の目的

発生した集団感染の全体像や病気の特徴などを調べることで、今後の感染拡大防止対策に用いること



ラインリスト

ラインリストからみえること(わかること)

- ①発症間隔から病原体(病気)を推定
- ②発症人数、拡がり方で、感染症or食中毒?
- ③消毒範囲等、感染対策の振り返り
- ④これからの感染予測と対応策



演習

- ① ラインリストを作成してみよう
- ② ラインリストから見えること(わかること)
- ③ グループで意見交換してみましよう



ラインリスト

感染症ラインリスト 【資料1】

感染症ラインリストの書き方 【資料2】

事例 【資料3】

レイアウト図 【資料4】



事例

- 園児80名、職員30名（そのうち調理従事者5名）の保育園
- 合同保育は、平日の朝、夕、土曜日終日実施。
0歳～2歳（1歳児の部屋）、
3歳～5歳（5歳児の部屋）に分かれて保育している。
7時～8時は全園児合同保育（1歳児の部屋）
- 近隣の小学校で胃腸炎が流行していると情報あり。





積極的疫学調査票

施設名	
-----	--

No.	名前 (イニシャル や漢字1字な ど)	クラス、 号
-----	------------------------------	-----------

記入例	山○さん	5歳児
-----	------	-----

記入例	花○保育士	5歳児クラス担任
-----	-------	----------

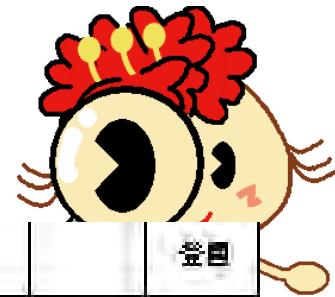
【感染源調査】

・どこから感染したか？(A君の前に、先行する嘔吐、下痢はなかったか?)
 小学校で胃腸炎が流行している情報あり。小学生の兄弟はいるかい？

【手技の確認・今後の拡大予測】

- ・適切な処理はできたか？(消毒の範囲、濃度、処理手順、換気)
- ・感染原因は不明であるがノロウイルスなどと仮定し二次感染を防ぐ必要あり。潜伏期間を考慮し、今後発症する園児に注意。
- ・園児の避難は適切だったか？3m四方は汚染している可能性あり。消毒濃度は適切だったか？園児が吐物を踏んで施設内に汚染が広がる可能性あり。
- ・Aくんの汚染した衣類の処理は適切だったか？園で一次洗浄はしないほうがいい。
- ・お誕生日会で飲食をしていないか？食中毒に発展するリスクあり。
- ・全クラスで誕生会だったため、全クラスが感染する可能性あり。(健康観察の強化)

No.	名前	年齢	性別	症状	経過	備考
1	A	5歳児	男	● 園、2階ホール	■ 受診、胃腸炎の診断	● 休み
2	B	5歳児	男	● 5歳クラス	■ 胃腸炎	● 休み
3	C	5歳児	男	● 1階ホール	■ 胃腸炎	● 休み



1	A	5歳児	男	■ 園、2階ホール	■ 文診、胃腸炎の診断		■ 休み	■ 登園
2	B	5歳児	男			■ 5歳児クラス	■ 胃腸炎	■ 休み
3	C	5歳児	男			■ 15時 園の玄関	■ 帰宅後に下痢	■ 休み
4	D	4歳児	女				■ 軟便	■ 登園
5	新任保育士	コリー	女			■ 夜、茶		■ 休み
6	E	5歳児	男				■	■ 休み

【振り返り】

・5歳の園児が多く発症している。ロちゃんはおくんの近くにいる園児だったが？潜伏期間から考えると、ホールでの嘔吐から感染した可能性が大きい。

→適切な吐物処理はできたか振り返る必要あり。

【手技の確認・今後の拡大予測】

- ・くんが嘔吐した場所が玄関。いろいろな人が通るので感染拡大する可能性大。
- ・さらに見取り図で見てみると調理室前。調理室の汚染を防ぎ食中毒への発展を阻止する必要あり。
- ・新任保育士の吐物処理手順はどうだったか？
- ・新任保育士が体調不良のまま勤務継続している。職員の健康管理はどのようにしているのか？

【報告のし方について】

- ・この時点で通常より先嘔吐、下痢の患者が多い。園としてどのような対応をとるか？20人には達していないが明日以降も増える可能性あり。園内掲示、保護者への周知など早めの対応が感染拡大防止となる。
- ・区福祉保健センター健康づくり係への報告

集団発生時の 対応について



感染症発生時の報告基準

「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」より

- ア 同一の感染症や食中毒による、またはそれらが疑われる
死亡者または重篤患者が1週間以内に2人以上発生した場合
- イ 同一の感染症や食中毒の患者、またはそれらが疑われる者が
10人以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- ウ 上記以外の場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症
等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

感染性胃腸炎（ノロウイルスをど）の集団発生時の対応

【報告基準】 感染症等発生時の報告について(横浜子ども青少年周知)平成 30 年 9 月 21 日

【参考】 社会福祉施設等における感染症発生時の対応について(平成 17 年 2 月 22 日)厚生労働省健康課長通知

- ① 同一の感染症もしくは食中毒による、またはそれらによると疑われる**死亡者または重症患者が 1 週内に 2 名以上発生した場合**
- ② 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が **10 名以上または全利用者の 2 割以上発生した場合**
- ③ ①及び②に該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合**
- ④ 「感染症予防法に定める感染症(1～3 類)及び麻疹、風しん」については、一人でも発生及びその疑いのある場合

●上記の基準に該当、もしくは基準は満たしていないが、有症状者の増加など**感染拡大が疑われる場合は、速やかに金沢区福祉保健センター健康づくり係(☎045-788-7840)に一報を入れます。**

【第一報の連絡事項】…「感染性胃腸炎 第一報(報告用)」を参照

ア)施設の概要

- ① 名称 ②所在地 ③電話番号 ④連絡担当者 ⑤利用者・園児・生徒数、職員数
- ⑥ 発症者もしくは有症状者の棟・クラス・部屋

イ)発症状況(利用者・園児・生徒・職員も含めて)

- ① 初発の有症状者の発症時期、症状、発症場所 ②現在の発症者数
- ③ 初発の有症状者以降の発症者の発症時期、症状、発症場所
- ④ 有症状者の受診状況(受診日や検査の有無、診断名など) ⑤重症者(入院者)の有無や症状
- ⑥ 給食の有無

ウ)その他(警報の有症状者数との比較、イベントなどの実施状況など)

●第一報を受け、福祉保健センター内で今後の対応についてカンファレンスを行います。
⇒現地調査に伺う場合、訪問時間等について福祉保健センターより施設に連絡します。

センター内カンファレンス

【現地調査の内容】

- ・初発有症状者の発症経過等の状況把握：嘔吐・下痢時の対応内容(嘔吐した場所など汚染が疑われる場所、使用した消毒薬、濃度、手拭、汚物の処理状況、人の関係など)
- ・利用者・園児・生徒・職員(全有症状者を含む)の健康状態
- ・イベントなど感染拡大の可能性のあるエピソードの状況把握
- ・給食内容、給食の有無、配膳/下膳の実施状況、調理担当職員の健康状態(給食実施時)
- ・環境消毒(日常清掃)の実施状況(使用している消毒薬、濃度、場所、方法など)
- ・検便依頼、回収方法について(必要時)
- ・警報の実施状況もしくは予定(保護者等向けの通知文、掲示など)
- ・終息までの日々の報告についての依頼
- ・手洗いうがい有症状者グループと未発症グループの分離などの感染予防策の実施状況

※ご利用いただきたいもの：施設平面図等(それ以外は、上記内容についてききとりを行います。)

1. 第一報

福祉保健センター
への連絡

感染症(疑い)発生

第一報(福祉保健センターへ連絡)

現地調査

2.現地調査

福祉保健センター職員が
必要に応じて、施設へ
調査にお伺いします

用意いただくもの

- ・行事予定表
- ・園の平面図
- ・献立表



感染性胃腸炎発生時の調査票(参考)

調査施設

調査日

調査者

1 ケア時の予防									
<input type="checkbox"/>	手洗いのタイミング、頻度								
<input type="checkbox"/>	ペーパータオルの設置								
<input type="checkbox"/>	手袋の着用	<input type="checkbox"/>	社物処理	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助		
<input type="checkbox"/>	手袋の交換頻度								
<input type="checkbox"/>	マスクの着用	<input type="checkbox"/>	社物処理	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助		
<input type="checkbox"/>	エプロンの着用	<input type="checkbox"/>	社物処理	<input type="checkbox"/>	オムツ交換	<input type="checkbox"/>	食事介助		
<input type="checkbox"/>	エプロン交換のタイミング								
2 社物や便の処理									
<input type="checkbox"/>	処理担当者								
<input type="checkbox"/>	使用している薬剤名								
<input type="checkbox"/>	事前作成の有無	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無				
<input type="checkbox"/>	希釈濃度								
<input type="checkbox"/>	希釈液の交換頻度	一日	回	他:					
<input type="checkbox"/>	薬剤保管場所								
<input type="checkbox"/>	着用	<input type="checkbox"/>	ガウン	<input type="checkbox"/>	手袋(2重)	<input type="checkbox"/>	マスク		
		<input type="checkbox"/>	使い捨てか						
3 施設内の消毒									
<input type="checkbox"/>	使用している薬剤名								
<input type="checkbox"/>	希釈濃度								
<input type="checkbox"/>	希釈液の交換頻度	一日	回	他:					
<input type="checkbox"/>	保管場所	各階	箇所	他:					
<input type="checkbox"/>	消毒方法								
<input type="checkbox"/>	実施する人								
<input type="checkbox"/>	トイレ	頻度							
<input type="checkbox"/>	手の触れる場所	頻度							
		<input type="checkbox"/>	手すり	<input type="checkbox"/>	ドアノブ	<input type="checkbox"/>	窓口	<input type="checkbox"/>	ボタン
<input type="checkbox"/>	床								
<input type="checkbox"/>	浴室								
<input type="checkbox"/>	スリッパ、履物								
リネン類									
<input type="checkbox"/>	施設内での処理方法								
<input type="checkbox"/>	保管方法								

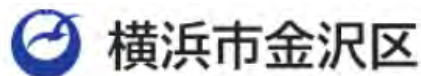
4. 終息の判断

福祉保健センターで
終息の判断を行います



- 最後の患者の発生から
3日間(72時間)、
新規発症者が無い場合
- 経過観察を実施し、
有症者数が日常レベル
(ベースライン)以下に
収まったと確認できた
場合

金沢区ホームページ



現在位置 [横浜市トップページ](#) > [金沢区トップページ](#) > [健康・医療・福祉](#) > [健康・医療](#) > [予防接種・感染症](#) > [【施設向け】感染症の集団発生時の報告について](#)

最終更新日 2024年7月12日

【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

施設などで感染症の集団感染が発生した場合には、診断を確定し、適切な治療を行うとともに、感染経路を調べ、感染拡大を防ぐ必要があります。日頃から感染予防等に十分留意するとともに、感染症の発生があった場合は、ご報告をお願いいたします。

様式はココから

金沢区 感染症 集団報告



【参考資料の紹介】

＼施設での研修などにご活用ください／

①【嘔吐物処理対応】



②【嘔吐物処理対応】

- 嘔吐物処理についての動画です。
- 下記QRコード先にて公開されているので、参考にご覧ください。



横浜市保土ヶ谷福祉保健センター
「実践で学ぶ嘔吐物処理」より
https://youtu.be/iSfVYPag_pE

感染症ラインリストの書き方

- 時系列に記入（クラス別等に分けない）
- 番号は通し番号（紙が 2 枚目になるときは 16～、エクセルで入力の場合は下に追加）
- 名前の欄は、誰か判別できるように記入（例：〇〇ちゃん、下の名前など）
- クラス名（例：たんぽぽ、ばら など）
- 年齢（現在の年齢）
- 嘔吐は●○、下痢は■□、それぞれ初発が●■、以降は○□で記入
- 出欠、早退がわかるように記入
- 嘔吐や下痢が、家なのか園なのか、また、園のどこなのか、いつなのか記入すると、今後の予測、対策が立てやすい
- 一度回復した人が、再度症状が出た場合であっても、新たな番号はとらない
- 用紙の途中で、2 枚目になった場合、日にちの列を合わせる
- 発生が土日等、園の休みをまたいでいる場合は、月曜日など休み明けの登園時に、休み中の体調を確認し、発生状況を把握し記入（土日で発症して、月曜日には症状改善し登園してくる場合あり）

<事例>

- ・園児 80 名、職員 30 名（そのうち調理従事者 5 名）の保育園。
- ・合同保育は、平日の朝、夕、土曜日終日実施。0 歳～2 歳（1 歳児の部屋）、3 歳～5 歳（5 歳児の部屋）に分かれて保育している。7 時～8 時は全園児合同保育（1 歳児の部屋）
- ・近隣の小学校で胃腸炎が流行していると情報あり。

【経過】

10月8日（火）

14 時頃 全クラス合同で2階ホールにてお誕生日会を実施。誕生日会が終わるころ、5 歳児クラス **A くん** が突然嘔吐した。担任の先生が A くん に駆け寄り、近くにいた園児に離れるように指示をした。近くにいたフリーの先生と新任の先生が A くん の着替えの手伝いと吐物処理をした。他の園児は各クラスの担任の指示に従って各クラスへ戻った。

10月9日（水）

- 8:30 ・A くん の母親から連絡があり「昨日病院で診てもらったところ検査はしていないが胃腸炎と言われた。熱は下がったが、まだ気持ち悪そうにしているので今日はお休みさせます。
- ・新任の先生はなんとなく体調不良を感じていたが、熱はなく気にせずそのまま勤務した。
- 9:40 ・5 歳児クラス **B くん** が 5 歳児の部屋で嘔吐。主任の先生が事務室で休ませ母親にお迎えの連絡をした。
- 16 時 ・5 歳児クラス **C くん** が玄関で嘔吐。事務室にいた主任の先生が吐物処理をし、C くん を事務室で休ませた。

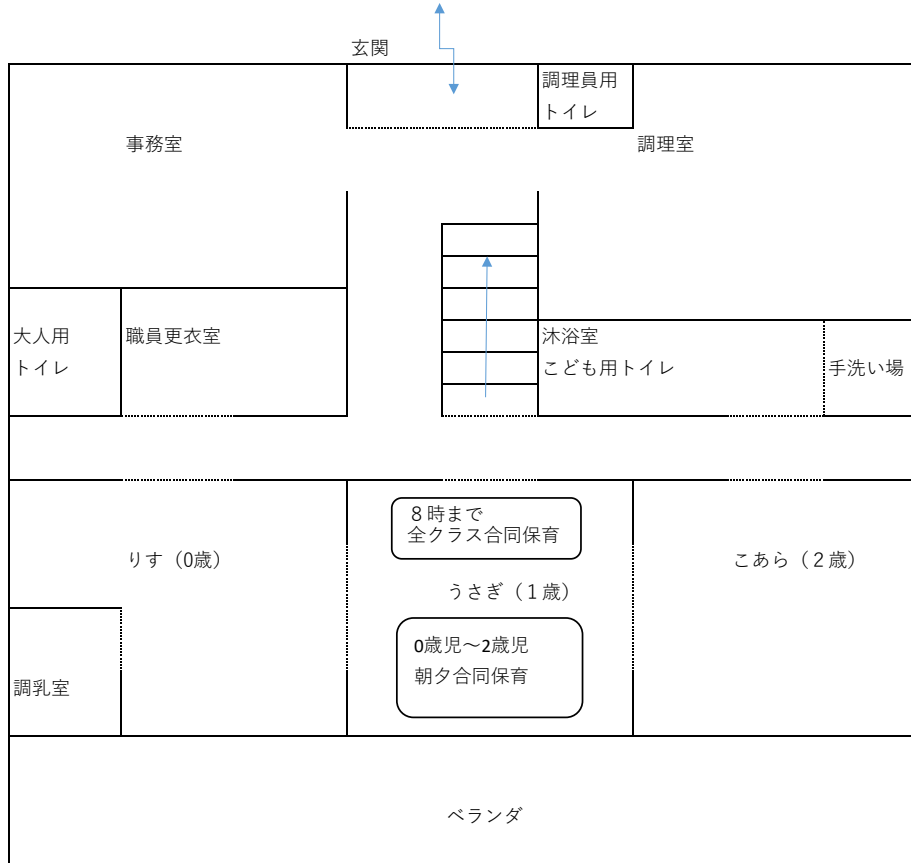
10月10日（木）

- 8:30 ・A くん 登園。熱なく元気。
- ・B くん お休み。母親から「病院で胃腸炎だろうと言われた」と。
 - ・4 歳児クラス **D ちゃん** は今朝、軟便だったが元気そうなので登園。昨日も園で下痢をしたと言っている。
 - ・C くん はお休み。母親から「帰宅後は嘔吐はないが下痢をした」と。
 - ・新任の先生から休みの連絡。「昨日園にいるときからお腹の調子が悪かった。帰宅後、気持ち悪くなり自宅で吐いてしまった。
 - ・5 歳児クラス **E くん**、**F ちゃん** が今朝、家で嘔吐し休みの連絡。
 - ・5 歳児クラス **G ちゃん**、3 歳児クラス **H ちゃん**、**I くん** が朝の合同保育時に 5 歳児の部屋で嘔吐あり。
- 10:30 ・4 歳児クラス **J くん**、**K ちゃん** が 4 歳児の部屋で下痢症状あり、早退の連絡。
- 13 時過ぎ 金沢区役所福祉保健課へ第一報報告。

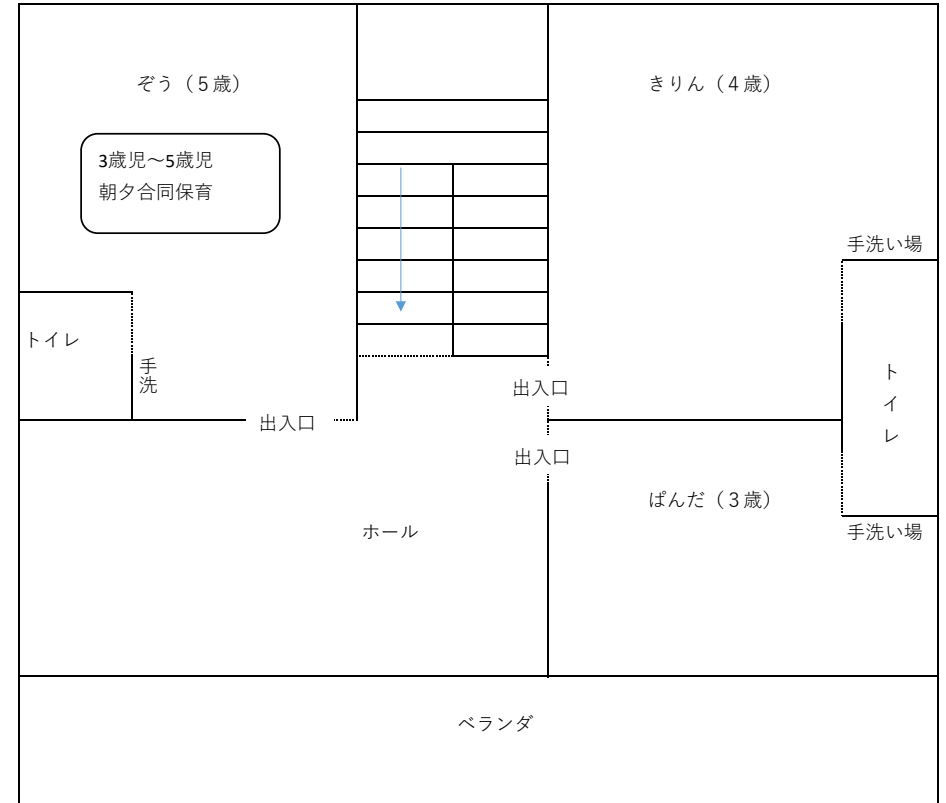
<10月8日から10日までの嘔吐・下痢場所>

資料4

1階



2階



園庭

